

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスKaDan		
○保護者評価実施期間	R7年11月21日		R7年12月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44家庭	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	R7年12月6日		R7年12月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様のニーズに寄り添った支援を提供している。	将来考えているお子様の姿に向けて、お子様が今取り組んでほしいこと、KaDanとして取り組めることを話し合い、支援方針を決めている。	KaDanとして取り組めることの幅を拡げられるよう、物品や活動内容の充足を図っていく。

2	事業所内が広いので、のびのびと体を動かす環境ができています。	運動の部屋とあたまの部屋で活動をする部屋を分けて取り組んでいる。 自分で選択した活動に集中して取り組める環境設定を行っている。	利用者様の学年が上がってきているため、遊びの種類を増やしていきつつ、大きなトラブルや怪我防止に努めていく。
3	学校のクラスに近い人数での集団活動	物の貸し借りや雑談などを通じて様々な人と関わる機会を設けている。	利用者同士でトラブルが発生した際には、ただトラブルを止めるのではなく、「どうしたらよかったのか」を考えられるような支援を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNS等の活用ができていない。	インスタグラムを使用しているが、積極的に活用をできていない。	事業所での様子が伝わりやすいようなテーマを決めて、投稿していく。
2	地域との交流ができていない。	地域の行事を把握することができていない。	地域行事に参加することができるよう、行事を把握して参加する機会を設けていく。

3			
---	--	--	--